

## エクステンジプログラム報告書

1. 被招へい者（被派遣者）全員の氏名・所属・身分とそれぞれの滞在期間・滞在先  
佐藤修二 名古屋大学理学研究科 教授  
2011年2月23日（水）～2月27日（日） 4泊5日  
※26, 27日は、台湾全島にわたる地文学的調査研究を行った。
2. 受け入れ担当者の氏名・所属・身分  
木下大輔 国立中央大学 准教授
3. 招へい（派遣）の目的（200字程度）  
前回（2010年6月）の訪問で観測装置：3色（g' r' i'）偏光カメラ TRIPOL の提案を行ったが、今回訪問の目的は、その後の進捗状況を報告して今後の太陽系天体の観測的研究の方針を討議することである。
  - (1) 23日（水） 実験室視察
  - (2) 24日（木） コロキウム：題目『3色（g' r' i'）偏光カメラ TRIPOL の進捗』
  - (3) 25日（金） コロキウム：題目『南アフリカ IRSF の10年の歩み』引き続き1時間、チェン教授および院生3名と計画について討論
4. 成果報告（用紙が不足の場合は足してください）  
25日午前の討議のまとめ  
4月～9月にまず3色撮像カメラ部の製作、続いて10～12月に偏光測定部を付加する。  
2011年4月 分岐路 F8 の設計（座標プログラム）（台湾側から我が国へ来訪）  
5月 分岐路の製作（放電加工機）  
6月 CCD および光学部品の発注  
7月 3色撮像カメラの組立  
8月 3色撮像カメラの試験（我が国から2名を台湾に派遣）  
9月 3色撮像カメラの試験観測 @鹿林天文台 1m 望遠鏡  
10月 3色偏光測定部の設計および製作  
11月 3色偏光測定部の実験室実験  
12月 3色偏光測定部の試験観測 @鹿林天文台 1m 望遠鏡  
共同試験開発およびリスクシェアを基本として、そのコストはそれぞれが負担する。  
3色撮像カメラ（4月～9月） 120万円  
3色偏光測定機能（10月～12月） 150万円  
※上記にさらに CCD（SBIG ST-9 XEi）1台 25万円 x2 台分が必要となる  
以上、私と中央大学側4名とで取り決めた内容である。  
上記にそって、今後 TRIPOL 計画を遂行する。